

こちらは記載例です。

汎用的な表現にしていますので、実際の提出時はこちらを参考に具体的に記載してください。

補助事業計画書

1. 事業者概要

フリガナ	カブシキガイシャ〇〇		フリガナ	
名 称 (会社・屋号)	株式会社〇〇		代 表 者	氏 名
				〇〇 〇〇
本 社 (本 店) 所 在 地	〒000-0000		TEL	00-0000-0000
	東京都世田谷区〇〇〇丁目〇番〇号			
法人番号 ※法人のみ	0000000000000			
事業者URL				
世田谷区内 事業所所在地	〒 同上		TEL	同上
連 絡 担 当 者	フリガナ		部 署	総務部
	氏 名	〇〇 〇〇		
	E-mail		TEL	00-0000-0000
設立年月日 ※西暦で記入	2000年 〇月 〇日		資本金	100万円
役員数	3人(監査役を含む)		常時使用する従業員数	10人
業 種 (大分類等)	〇〇業			
事業概要	〇〇の製造・加工・提供を行う事業者として、材料の投入、加工、仕上げまでの工程を一貫して行っている。少人数体制により業務を運営している。 沿革は～			

2. 補助事業計画

① 補助対象事業(申請する補助対象事業を <u>一つ</u> 選択)※併用不可
<input type="checkbox"/> No.1:ITを活用した販路拡大支援 <input checked="" type="checkbox"/> No.2:生産性向上設備導入支援
② 事業内容詳細
<p><現在の事業の状況や課題></p> <p>現在、本事業においては、〇〇作業に使用する材料の投入工程を人手により行っている。 材料の計量、投入、確認作業を都度手作業で対応しているため、作業時間が長く、従業員への身体的負担も大きい状況である。 また、投入量のばらつきや投入タイミングのズレが生じることがあり、作業効率や品質の安定化が課題となっている。</p> <p><当該補助金事業の申請に至った動機></p> <p>限られた人員で安定したサービス提供を継続していくためには、作業工程の省力化および標準化が必要であると考える。 そこで、本補助金を活用し、自動材料投入機を導入することで、作業負担の軽減と業務効率の向上を図り、生産性の改善を目指すこととした。</p>
③ 補助金を活用した取組内容
<p><開始予定年月日及び完了予定日> <u>令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日</u></p> <p><当該補助金を活用した取組み内容></p> <p>①自動材料投入機の導入</p> <ul style="list-style-type: none">・材料の計量および投入作業を自動化し、手作業による工程を削減する。・一定量を安定して投入できる仕組みを構築し、作業精度の向上を図る。 <p>②作業工程の省力化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none">・材料投入に要する作業時間を短縮し、従業員の身体的負担を軽減する。・作業の属人性を低減し、誰でも対応可能な体制を整備する。 <p><当該補助金を活用することによる見込める効果・予測及び把握方法></p> <p>※補助金活用により見込まれる販路拡大や生産性向上効果、並びに補助事業後の売上や収益向上予測について、客観的測定方法を含めて具体的な数値・手段で示すこと</p> <p>現在、当該作業には 1 日あたり約〇分を要しているが、本機器の導入により 1 日あたり約△分の作業時間短縮が見込まれる。これにより、月間で約〇時間の作業時間削減を見込んでいる。 削減された時間を他工程に充てることで、1 日あたりの処理件数を〇件から△件へ増加させ、月間で約〇円、年間で約〇円の売上増加を目標とする。</p> <p>効果については、導入前後の作業時間、処理件数および月別売上高を記録・比較することで、客観的に測定・把握し、実績報告において効果を報告する。</p>

各項目について記載内容が多い場合は、適宜行数を追加してください。